

各 位



2018年10月12日

会社名 株式会社 ワコム
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 井出 信孝
(コード番号:6727 東証第一部)
問合せ先 取締役兼 CFO 町田 洋一
(TEL 03-5337-6502)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2018年5月11日に公表した2019年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

2019年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想の修正 (2018年4月1日から2018年9月30日まで)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	41,330	830	670	660	4.06
今回修正予想(B)	46,200	2,700	2,900	1,900	11.70
増減額(B-A)	4,870	1,870	2,230	1,240	
増減率(%)	11.8	225.3	332.8	187.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	40,689	1,501	1,642	1,674	10.31

2019年3月期 通期連結業績予想の修正 (2018年4月1日から2019年3月31日まで)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	85,000	4,000	3,920	2,980	18.35
今回修正予想(B)	89,000	4,000	3,920	2,980	18.35
増減額(B-A)	4,000	-	-	-	
増減率(%)	4.7	-	-	-	
(ご参考)前期通期実績 (2018年3月期)	82,263	3,527	3,585	2,362	14.55

想定為替レート

[今回改定] 1米ドル=111円、1ユーロ=130円

[前回公表時] 1米ドル=105円、1ユーロ=130円

(業績予想の修正理由)

第2四半期累計期間の連結業績については、テクノロジーソリューション事業の好調を反映して、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前回予想を上方修正いたします。なお、売上高には、期初想定に対して為替相場がドル高で推移したことによる増加要因も反映しました。

テクノロジーソリューション事業においては、スマートフォン向けならびにタブレット・ノートPC向けペン・センサーシステムに対するメーカー各社からの需要が早期化したことなどから、売上高、セグメント利益ともに前回予想を上回る見通しです。一方、ブランド製品事業においては、競争環境の変化によりペンタブレット製品の中低価格帯モデルの市場浸透が進まなかったことなどにより、売上高、セグメント利益ともに前回予想を下回る見込みです。

通期の連結業績については、期初想定に対して為替相場がドル高傾向で推移していることを反映し、売上高は前回予想を上方修正しております。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を据え置いております。

テクノロジーソリューション事業においては、各ペン・センサーシステムへの需要拡大などから、売上高、セグメント利益ともに前回予想を上回る見通しです。一方、ブランド製品事業においては、売上高、セグメント利益ともに前回予想を下回る見通しです。上半期にはペンタブレット製品の販売が期初想定を下回ったこと、下半期においてはディスプレイ製品に関する新製品供給問題について商戦期に向けておおよそ解決の目途がつき、また、クリエイティブビジネスにおいて販売回復に向けた施策を追加的に実施するものの、製品構成変化による収益性低下を十分回復させることが困難な見通しであることを反映しております。また、米国による対中関税発動の影響に伴う利益減少リスクも織り込んでおります。

なお、2018年5月11日公表の中期経営計画において掲げた経営方針に沿って、より一層お客様にフォーカスした営業・マーケティング組織体制の改編を実施し、製品戦略の見直しなどを進めてまいります。

(その他)

配当予想の修正はございません。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しておりますが、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上